

○関東町村議会議長会管外先進地視察（石川県） 山本 忠志
8月20日（水）～8月21日（木）

(1) 8/20 加賀市役所にて「スマートシティの取組み」を視察

最初に今津和喜夫議長の歓迎の挨拶があり、続いて政策企画課長他、地域デジタル課の方より説明があった。

スマートシティの取組みの中で最も印象に残ったのは、マイナンバーカードを用いた「より先進的な『スマートパス』への進化」で、加賀市民のマイナカード申請率は100%、交付率は96.8%とのこと。スマートシティ実現のために、マイナカードの普及は欠かせず、申請者には5000円の商品券を発行したり、顔パス導入の初期費用は国の交付金を活用するなど、工夫や努力が伺えた。また、2024年の北陸新幹線開業に合わせて、市内移動手段対策として加賀市版ライドシェアを始動するなど、スマートシティのための前向きな市の姿勢が参考になった。

(2) 8/21 小松市にて日本自動車博物館を視察

開館したのは1978年、富山県小矢部市で、1995年に石川県小松市に移転。レンガ造りの重厚な建物の中に、国内外の名車、珍車、バイクなど、500台を超える車が展示されていた。また、世界のトイレの展示もあり、何故この地に車の展示？なぜ世界のトイレ？と言う疑問が浮かんだが、明確なコンセプトは聞けずじまいで、悔いを残してしまった。